

野田九条通信

2017年9月 141号

野田・九条の会 事務局
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

「ノーガン・ズブマンヤ」の訴えを再び全世界に

平和のついで

2017

被爆72年の「平和祈念式典」で田上長崎市長が平和宣言の中で訴えしました。

「日本政府に訴えます。核兵器禁止条約の交渉会議にさえ参加しない姿勢を、被爆地は到底理解できません。核の傘に依存する政策の見直しをすすめてください。」7月に採択された国連での核兵器禁止条約に参加しない被爆国日本の政府の方針を真正面から批判したものでした。原水爆禁止運動として取り組まれた長い運動の中でノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャの訴えが世界にも大きな理解と共感を広げてこの条約が結ばれるところまで到達しました。しかし現在、世界中で保有されている核兵器の数は一向に減らず、の

みならず核保有国は増えています。そして今、危機的と言われる米朝間の威嚇と挑発の拡大は核戦争の偶発さえ想起されています。ごく身近にある危機に対して政府は核の傘の下でアメリカの方針に反対することなく、同調して北朝鮮への圧力を強めようとしています。核兵器使用の危険をより現実のものにする道になりかねません。

8月19日・20日に樺のホールで行われた平和のついでには延べ三百人の市民が集いました。お笑いコンビ「おしどりマコ・ケン」のトークでは、おかしかったことを徹底的に調べ、聞きに行き、話し、行動する姿勢に感動。私たちにも今すぐにでもできることがあると気づかされました。ドイツでの取材で出会った高校生が当然のごとく支

持政党を持っていること、「日本では20歳になってから支持政党を考えるんですか？」と驚かされたことなど、「目からうろこ」でした。このような催しを今年初めて知ったという方が二日間熱心に参加してくれたこと、またまた通りがかかって展示を見てくれた小学生を連れた親子などに希望を見出せた二日間でした。皆さんお疲れ様でした。

理由は核兵器所有国と未所有国との軋轢の発生を防止するための主張です。しかし核禁条約に参加しない国は核兵器所有国です。そして条約賛成国は核兵器を所有していません。結果として条約に反対する国と主張を代弁する

核禁止条約に不参加の理由は核兵器所有国と未所有国との軋轢の発生を防止するための主張です。しかし核禁条約に参加しない国は核兵器所有国です。そして条約賛成国は核兵器を所有していません。結果として条約に反対する

核禁止条約に不参加の理由は核兵器所有国と未所有国との軋轢の発生を防止するための主張です。しかし核禁条約に参加しない国は核兵器所有国です。そして条約賛成国は核兵器を所有していません。結果として条約に反対する

核禁止条約に不参加の理由は核兵器所有国と未所有国との軋轢の発生を防止するための主張です。しかし核禁条約に参加しない国は核兵器所有国です。そして条約賛成国は核兵器を所有していません。結果として条約に反対する



① 今月の予定

- 9月3日(日) 13:30~16:30
DVD上映とディスカッション
映画『1984』(原作:ジョージ・オーウェル)
南部梅郷公民館 南地域九条の会
- 9月9日(土) 13:30~16:30
野田・九条の会 例会
DVD上映とディスカッション
樺のホール集會室①
広島、長崎の平和式典の映像
「原爆と沈黙~長崎浦上の受難~」
- 9月9日(土) 17:00~18:00
駅頭シール投票
自衛隊をどうすればいいと思いますか
愛宕駅前 野田九条の会
- 9月18日(月・祝) 15:00~デモ行進参加
ともに生きる未来を!
さようなら原発 全国集会
さようなら戦争
代々木公園 B地区
愛宕駅 13:37発
柏行き先頭車乗車
一緒に行きませんか?
- 9月30日(土) 13:30~16:30
DVD上映とディスカッション
映画『帰ってきたヒトラー』
北コミセン 川間九条の会
- 9月30日(土) 13:30~16:00
DVD上映とディスカッション
「沖縄 空白の1年~「基地の島」はこうして生まれた~」
中央公民館講座室 子どもの未来を語る会



九条の眼 無党派層が納得できる護憲の説明が必要だ

安倍首相は第三次内閣発足時に改憲は「日程ありきではない」と従来の方針を変えたともとれる発言をしました。これで改憲は遠のいたと考えるのは早計でしょう。森友、加計問題に加え自衛隊日報疑惑で内閣延命を優先しようと改憲を諦めたとは考え難く、問題を鎮静化させた後はたまた従来の手法で再度消費税 10%先送りとし、景気対策で人気を得た後改憲発議可能な議席を再度確保しようとするのではないかと憶測してしまうのです

ここで重要になってくるのが選挙でどう動くか分からない無党派層です。都議選でハッキリ大きく動く無党派層を見ました。無党派層は憲法についてどう考えているかです。戦後の民主教育で育ち、平和で平穏な生活が長く続くと憲法は空気のように意識せず暮らせます。原発、沖縄、自衛隊、北朝鮮のミサイルも少し気になりますが生活には影響はあまりないと感じているのではないのでしょうか。この一見平穏な中に突如、改憲の発議がなされた場合どう動くかを想像しなければなりません。国民投票までに考える時間はほとんどない中、判断を迫られるのです。「基本的人権の尊重」、「国民主権」、「平和主義」で、これを恥ずかしい憲法とし改憲を党是とするのが現首相であり自民党です。有権者への呼びかけは自由にでき、ミサイルの危機感を煽り九条の改憲へと追い込むのは容易なことです。そこで動揺せず冷静な判断ができるかが最大のポイント

トとなります。世界は当然ながら戦争を望んでいません。日本は敗戦により奇跡的とも言える平和憲法を得ました。無党派層はどう考え投票行動をとるでしょう。「政治のことはよく分からない」、「投票はその時に判断する」との感覚でいざとなったとき国民投票でどちらに傾くか、それを都議選が教えてくれています。無党派層が憲法とは何なのか、何を判断するのか、変えたらどうなるかなど、更に関心を深めることを期待したい。

72年平和が続いています。「戦争は嫌だ」、「戦争は絶対にさせない」などの思いを持って投票してきた人々が支えてきたのです。これらの人々の思いと日本国憲法が共鳴し合い平和を維持して来た、このことを無党派層に語り、共通の理解を広めていくことが何にもまして必要なのだと考えます。多くの方に語りかけたいと思います。



広島に行ってきました

この10年余り、例が少ない術後の感染症によって、入院、手術を繰り返し、筋肉は削られ下腹部が脱腸状態になってしまった。当然歳もとったし、声だけは元気だが、家事もろくにせずすぐ横になりたい。念願の広島へも行けないと悲観していたが、60代の友人が日程を組んでくれ、6月に行くことができた。

平和記念公園はよく整備され、修学旅行の生徒、若いカップル、外国人、老人の団体などがそこここに見られ、折り鶴を高く掲げたサダコの像（原爆の子の像）に、持参してきた千羽鶴を捧げる女性もい

た。原爆ドームの近くではボランティアの女性がガイドをしており「核兵器禁止条約」の署名を訴えていた。この署名は私たちも全国的に取り組んでいて、このほど国連で「核兵器禁止条約」が採択されたことは嬉しいかぎりである。

「長崎平和宣言」で長崎市長が日本政府に対し「核禁止条約の交渉会議にさえ参加しない姿勢」をはっきりと批判し、被爆者代表が安倍首相に「あなたは、どこの国の総理ですか。私たちをあなたは見捨てるのか。いまこそわが国が核兵器廃絶の先頭に立つべきです」と迫ったことなどは、国民誰しもの思いをよくぞ言ってくれた、と近頃のない胸のすくニュースであった。